

製品名: CEBPA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81114**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	37.5kDa

抗原情報

遺伝子名	CEBPA
別名	CEBP; C/EBP-alpha
遺伝子 ID	1050.0
SwissProt ID	P49715
免疫原	大腸菌で発現したヒト CEBPA の精製された組み換え断片。

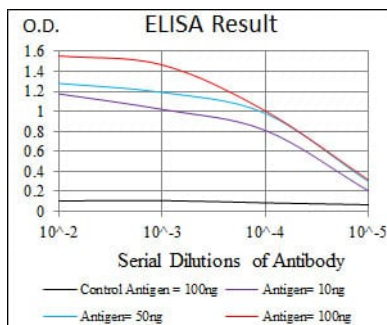
背景

このイントロンレス遺伝子によってコードされるタンパク質は bZIP 型転写因子であり、特定のプロモーターおよびエンハンサーにホモ二量体として結合することができます。また、関連タンパク質である CEBP-beta および CEBP-gamma とヘテロ二量体を形成する

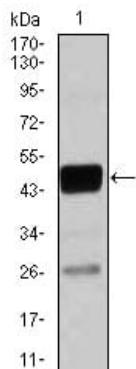
こともできます。コードされているタンパク質はプロモーターに結合し、体重の恒常性維持に重要な役割を果たすタンパク質であるレプチンをコードする遺伝子の発現を調節することが示されています。また、コードされているタンパク質は CDK2 および CDK4 と相互作用し、これらのキナーゼを阻害することで、培養細胞において増殖停止を引き起こすことができます。

研究分野

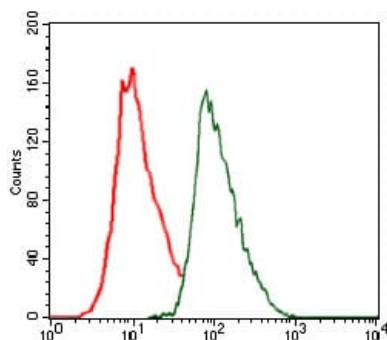
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



CEBPA マウス mAb を用いた THP-1(1)細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



CEBPA マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。